



すがのもりがくえん にしあわじ

# 須賀の森学園(西淡路小学校)

隣接型小中一貫校

|      |                              |
|------|------------------------------|
| 所在地  | 〒533-0031<br>東淀川区西淡路5丁目5番32号 |
| 電話番号 | 06-6322-5000                 |
| FAX  | 06-6322-4405                 |
| 校長名  | 赤江 伸吾                        |
| 開校年度 | 平成28年度(元淡路S33、元西淡路S9)        |



## ◆学校からのメッセージ

淡路中学校とともに隣接型小中一貫校「須賀の森学園」として、平成28年4月に新たなスタートを切り、今年で10年目を迎えました。淡路中学校・西淡路小学校・淡路小学校の3校で共有していためざす子ども像をもとに、学園訓を『つながり』『がんばり』『あこがれ』としました。

- あ・・・明るくあいさつできる子  
「つながり」の第一歩となるあいさつが、自然とできる子ども
- わ・・・わかるまで できるまで 努力する子  
「がんばり」がきく子ども
- じ・・・自分を大切に ひを大切にする子ども  
他者との関わりの中で自尊感情を育み、「あこがれ」を抱き、「あこがれ」られる子ども



## ◆運営に関する計画

ちがいを豊かさとしてとらえられるよう、ちがいを認め合い、自分と周りの人を大切にする態度を養っていくことがこれまで以上に重要です。算数科の基礎・基本である計算力を確実に身につけることから始め、中期的には自立した学びに向かう児童の姿を見据えて、課題改善にむけて粘り強く取り組んでいきます。

### 【中期目標 令和8～11年度】

小学校学力経年調査における「自分には、よいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を77%以上にする。

校内調査における「粘り強く問題に取り組むことができますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。

小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、調べた情報をもとに、課題を解決するために情報を収集・整理し、まとめ・表現する取組をしていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。

## ◆令和7年度「全国学力・学習状況調査」結果から

### 【国語】

平均正答率は、ここ数年安定しています。これは校内研究教科として授業改善に努めてきた結果といえます。また、朝の学習で書くタイム、話すタイムを設定していることも子どもたちの学力の土台となっています。また、数年前から学校で漢字検定を受験することで、子どもたちも意欲的に漢字の学習に取り組むようになってきています。

### 【算数】

平均正答率は、全国と比較すると3.0ポイント下回っている。算数科においてはアンケートにおいても苦手意識をもつ子どもの割合が多く、中学年の頃から計算が複雑になることから、意欲が低下する傾向があります。無回答率は低いものの、毎年図形の領域で課題がみられます。タブレットを効果的に活用し、子どもたちが具体的にイメージできるように授業を構成していく必要があります。

平均正答率 (%)

|    | 国語 | 算数 | 理科 |
|----|----|----|----|
| 学校 | 66 | 55 | 47 |

【P.20に全国・大阪市平均を掲載。】

## ◆令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果から

学期に2回以上、運動する良さを実感させることをねらった運動朝会を全校で行い、体を動かす機会を持つことができました。さらに、運動能力・跳躍力向上をねらった「なわとび週間」や、体力・持久力向上をねらった「かけ足週間」を全校で2週間ずつ設定したことで、寒い時期にも体を動かし、休み時間になわとびやかけ足をする児童の姿が多く見られました。それぞれのがんばりカードを作成したり、運動委員会による啓発動画を活用したりしたことも児童の意欲を高める一因となりました。その結果、「運動やスポーツをすることは好きですか。」の質問に対して、肯定的に回答する児童の割合は、男子が100%、女子が97%と、前年度を大きく上回りました。

しかし、体力合計点は男女ともに全国平均を下回り、項目ごとに見ても全国平均と比べて低い結果がほとんどです。次年度は、各学年における体育での実施単元を系統立てて整理し、児童の運動能力を向上させられるような仕組みを整えていきたいと考えています。

種目別平均値

|    | 握力    | 上体起こし | 長座体前屈 | 反復横とび | 20mシャトルラン | 50m走 | 立ち幅跳び  | ボール投げ | 体力合計点 |
|----|-------|-------|-------|-------|-----------|------|--------|-------|-------|
| 男子 | 18.50 | 17.78 | 31.06 | 34.44 | 46.52     | 9.47 | 147.41 | 20.50 | 50.83 |
| 女子 | 16.58 | 17.48 | 35.27 | 31.85 | 35.13     | 9.89 | 138.52 | 10.61 | 49.91 |

【P.20に全国・大阪市平均を掲載。】

## ◆学校行事の内容

◇運動会 6月の第1日曜日 R8年度は5月31日実施 低中高学年で合同演技

◇自然体験教室(5年生) 9月 2泊3日【六甲山方面】

◇修学旅行(6年生) 10月に1泊2日【ヒロシマ方面】

◇たてわり班活動

- ・児童集会 たてわり班でゲームなどを通して交流を深めます。
- ・須賀の森子どもまつり(7月) たてわり班で遊びのコーナーを企画・運営するおまつりをします。
- ・全校遠足(秋・年1回) 6年生がリーダーとして、1～5年生をつれてオリエンテーリングをします。

◇学習発表会・作品展 1年ごとに開催します。(今年度は、学習発表会を2月にします。)

◇ゲストティーチャーを招いての学習

- ・プロフェッショナルから学ぶ(キャリア教育)をすすめます。
- ・被爆体験者講話、車いす・アイマスク体験などの機会を設定し、当事者からお話をうかがう学習を大切にします。

◇地域行事への参加

- ・東淀川ドコドコドン(和太鼓演奏会) ・AWAKYOカーニバル(淡路地域教育協議会主催) など

## ◆特色ある教育活動 ～小中一貫教育～

◇教科の学習等における中学校施設の活用(生活科・理科の自然観察、体育の学習、クラブ活動など)

◇6年生の中学校登校

- ・6年生が直接中学校へ登校し、中学校の教室で授業を行います。
- ・授業には中学校の先生が支援等に入ります。
- ・文化祭や集会活動などにも参加しています。

◇須賀の森クラブトライ

- ・6年生が中学校の部活動を体験し、先輩たちに教えてもらいます。

◇合同あいさつ週間

- ・小学校の児童会、中学校の生徒会が中心となって登校時のあいさつ運動を行っています。

◇中学校教員とのチームティーチング

- ・月に数回、中学校の教員が小学校の教室に教えに来てくれます。
- ・中学校へ進学してから知っている先生がいるので子どもたちも安心です。



## ◆ICTを活用した教育の推進

◇学習者用端末・タブレット端末等を活用して、情報処理能力やコミュニケーション能力の育成にあたり、『主体的・対話的で深い学び』につながる授業づくりを進めます。

○大型ディスプレイの活用

- ・教室では、学習者用端末・タブレット端末をテレビと接続し、子どもたちが自分の考えを伝えたり、友だちの考えと比べたりすることにより、思考を深めることに役立てています。
- ・ひとり一台端末を活用した授業を行い、「楽しく・分かりやすい」学びを大切にしています。子どもたちがひとり一台端末・タブレット端末等を使う場面を多く設け、活用能力を高めています。
- ・子どもたちの理解度に合わせて、学習補助教材としてもタブレット端末等を活用しています。
- ・「心の天気」という機能を使って、子どもたちの気持ちの変化を毎日確認しています。



## ◆「あこがれの継承」を大切にしたい取り組み

◇上級生の姿を見て、「自分たちもカッコいい頼られる上級生になりたい!」と思える子どもたちを増やしたいと考えています。「なかま」との関わりの中で、自尊感情を育み、「あこがれ」を抱き、「あこがれ」られる子どもの育成に力を入れています。

○たてわり班活動の充実

○運動会での2学年合同演技(低・中・高)

- ・練習時、上級生が下級生をリードします。

○児童会活動、委員会活動

- ・運動会やあいさつ運動など、学校生活の様々な場面で活躍

○下級生の子どもたちへ…

- ・6年生が1年生の教室へお手伝い&遊びに…
- ・2年生が手作りの「おもちゃランド」に1年生をご招待など…

